

平成 24 年 9 月 7 日

備蓄用 H5N1 プレパンデミックワクチン製造株の選択についての意見

東京大学医科学研究所
感染症国際研究センター長
河岡 義裕

国立感染症研究所で実施した検討において、チンハイ株ワクチン(Clade2.2)で免疫することで、エジプトで流行している Clade2.2.1 系統株に対応できるというデータが出ており、Clade2.2.1.1 系統株に反応していないというデータでしたが、我々の研究ならびにオランダの研究では、この系統はフェレットで空気感染するのに関与するアミノ酸変異を持っていないためことから、平成 24 年度の備蓄株をしてチンハイ株を選択するという案1に異存はありません。

エジプト株(Clade2.2.1)を臨床研究していくことは、重要なことであり、そういう面からもチンハイ株ワクチンを選定して備蓄するとともに、エジプト株を製造し臨床研究を検討するということがよろしいかと思えます。

